

マレーシア大使館を訪問し、「バティック色付け体験」に参加しました！

国際理解委員会

1月9日（月）11：00～13：00、本校生徒3名が、渋谷区にあるマレーシア大使館を訪問し、バティック色付け体験に参加しました。これは、タンゲスワリー・パレスワラン（Thangeswary Paleswaran）一等書記官（First Secretary）

からのお誘いを受けたものであり、都立東高校さんと合同で参加した企画です。まずは大使館広報部中田さんのご案内で、マレーシアの概要についてお聞きした後に、タンゲス書記官によるマレーシア紹介を受けました。その後、初めてのバティック色付け体験に挑戦しました。



マレーシア大使館入口



100年に一度の再開発 渋谷



タンゲス書記官によるマレーシア紹介



Thank you !



タンゲス書記官によるレクチャー



自ら最後の挨拶を英語で行った生徒、待ち合わせ連絡から到着までナビを務めた生徒、東高校の生徒さんや先生ともコミュニケーションを取りながら、この機会を楽しんだ生徒、3名はそれぞれ頼もしかったです。冬休み最終日に、充実した経験ができました！

【 参加生徒の感想 】

◆体験中に目が合うと自然と笑顔になり、「今、コミュニケーションが取れている気がする！」と感じられました。笑顔は世界共通の言語だと感じました。◆マレーシアは多民族が互いの文化を尊重しながら共生する国家だ。今、民族対立がある世界の中でとても素晴らしいと思う。◆バティック色付け体験では、花柄や色使いなど日本とはまた違った特色があり、マレーシアの多様な色彩感覚が伝わってきました。貴重な体験ができ嬉しかったです。今後も国際理解を深めるために、積極的に異文化交流を深めることが大事と感じました。

これからも様々な企画を実施し、国際理解教育の推進に努めていきます！